

9 バージョンアップ

本章では、パッケージソフトを定期的にバージョンアップする「自動バージョンアップ」と、利用者が任意に行う「手動バージョンアップ」の操作を説明します。

9.1 自動バージョンアップ

(1) 機能概要

オプション設定にて、バージョンアップ設定が「自動」に設定されている場合、自動的に NACCS 掲示板から新しいプログラムがダウンロードされ、バージョンアップが行われます。

パッケージソフト起動時、NACCS 掲示板からバージョン情報を取得し、バージョンチェックが行われます。更新が必要な場合には新しいプログラムのダウンロードが自動的行われます。ダウンロードした新しいプログラムは、次回パッケージソフト起動時に反映されます。

また、連続してパッケージソフトを利用している場合でも、一日一回バージョンチェックが行われます。

その他、業務画面や帳票についても自動的にバージョンアップが行われます。

(2) 操作

(A) 自動バージョンアップ設定

1. 「オプション設定」ダイアログの「端末」タブページを開きます。
2. バージョンアップ設定の「自動」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

オプション設定

端末

端末の全体的な設定を行います。

サーバ

プリンター

自動印刷

送信前確認

電文振分条件

自動保存
(種別単位)

自動保存
(出力情報コード単位)

PDF自動保存

通知

ユーザーキー

ツールバー

論理端末名

端末アクセスキー

端末定義

端末種別 Interactive

オプション設定の共有

☒ 利用者毎 (共有しない)

☐ 共有する

電文保存期間 14 日

ディスク容量警告 100 MB

☒ 自動バックアップを有効とする

☐ 不完全な電文受信を許可する

バージョンアップ設定

☒ 自動

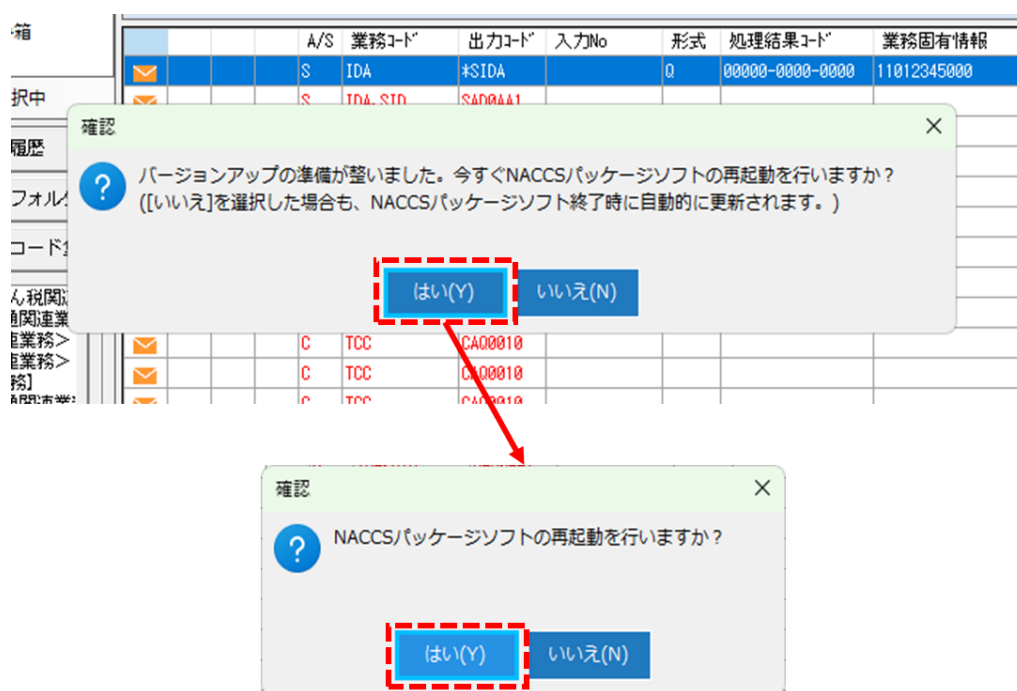
☐ 手動

☐ 指定の場所からバージョンアップを行う

(B) 自動バージョンアップの反映

自動的に新しいプログラムのダウンロードが完了すると、反映するために再起動を行います。

1. 再起動を促すダイアログが表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。
2. 再起動確認ダイアログが表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。
3. パッケージソフトが再起動し、バージョンアップされます。



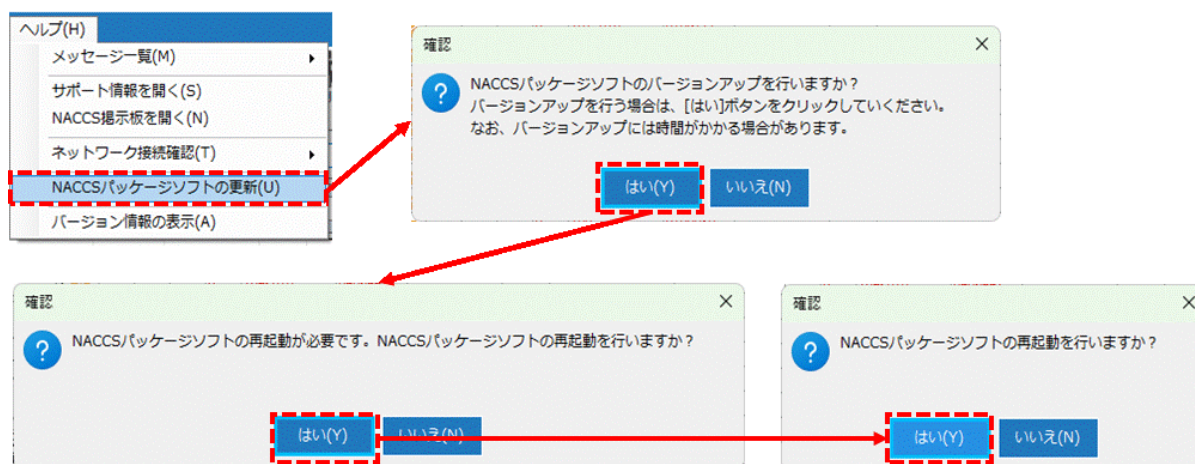
9.2 手動バージョンアップ

(1) 機能概要

パッケージソフトのバージョンアップを手動で行います。

(2) 操作

1. メインメニュー [ヘルプ | NACCS パッケージソフトの更新] を選択します。
2. バージョンアップ確認ダイアログが表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。
3. 新しいプログラムのダウンロードが完了すると、再起動を促すダイアログが表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。
4. 再起動確認ダイアログが表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。
5. パッケージソフトが再起動し、バージョンアップされます。



9.3 NACCS 掲示板に接続できない環境でのバージョンアップ

※ NACCS 掲示板に接続できる場合、この操作を行う必要はありません。

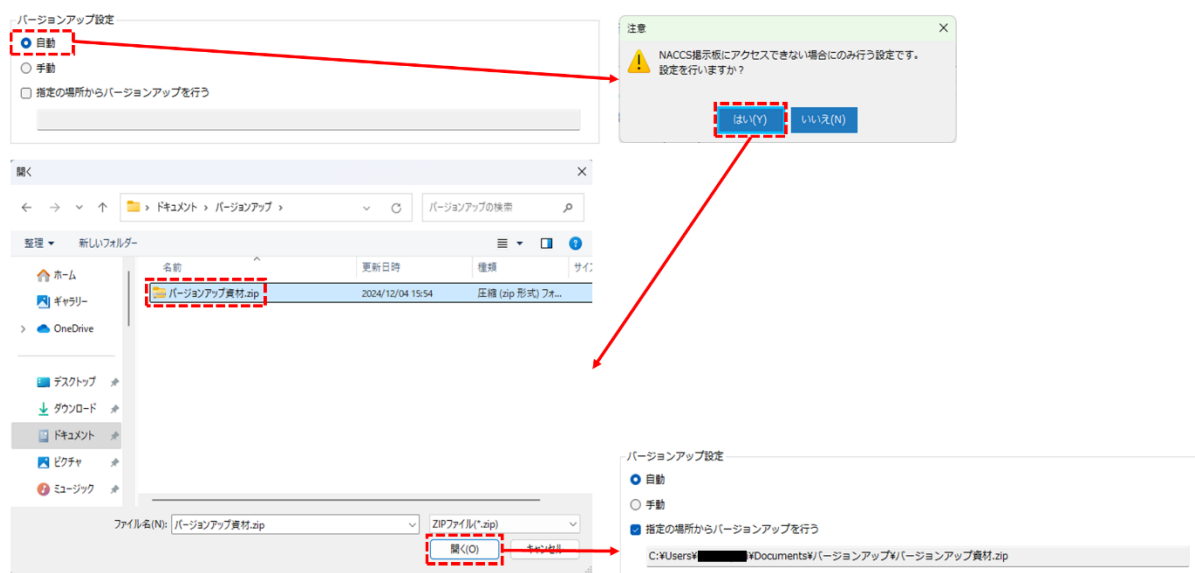
(1) 機能概要

NACCS 掲示板に接続できない利用者は、別途 NACCS センターから提供されるバージョンアップファイル (zip ファイル) を用意し、接続できる場所 (アクセス可能なファイルサーバ等) へ配置します。[オプション設定 | 端末] タブの [指定の場所からバージョンアップを行う] でその場所を指定することで用意したファイルでバージョンアップを行うことができます。

[指定の場所からバージョンアップを行う] でネットワークパスの指定が可能となっているため、ネットワーク上の共有フォルダーを指定することで、複数端末を利用している場合でもすべての端末にバージョンアップファイルを個別に配布する必要はありません。

(2) 操作

1. [オプション設定] ダイアログの [端末] タブページを開きます。
2. バージョンアップ設定の [指定の場所からバージョンアップを行う] にチェックを入れます。
3. 注意喚起ダイアログが表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。
4. ファイルを開くダイアログが表示されますので、対象のバージョンアップファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。
5. [指定の場所からバージョンアップを行う] にチェックが入り、選択したファイルが登録されます。



- 設定後は自動・手動どちらの方法でもバージョンアップができます。